

3月3日(耳の日)
読売新聞で紹介!
絶賛発売中!

拝啓 病院の皆様

聴覚障害者が出会うバリアの解消を

帳合・番線
冊
現代書館 東京都千代田区飯田橋三・二・五 FAX 03-3262-5906
中国秀喜 著
拝啓 病院の皆様
ISBN978-4-7684-3466-6
定価 2000 円+税

お近くの書店にこのチラシをお持ち下さい。送料無料でお取り寄せ出来ます。
直接「現代書館」または「NPO法人ベターコミュニケーション研究会」(TEL/FAX 03-3380-3324)にお申込みも出来ますが、その場合は送料がかかります。



ガンの宣告を受け、検査・入院・手術を通して医者・看護師・臨床検査技師・栄養士とやり取りする中で出会った聴覚障害に関する無知・勘違いの数々。

◆著者紹介◆ 中国秀喜(ペンネーム 岩淵紀雄)
大分県生まれ。3歳の時猩紅熱にかかり失聴。ベターコミュニケーション研究会バリアフリー・アドバイザー。著書多数。聴覚障害に関する総合情報誌『いくお〜』編集部。元NHK『聴力障害者の時間』司会、総務省消防庁・経済産業省・国土交通省・厚生労働省各バリアフリー・ユニバーサルデザイン関係委員。平成14年「第4回ありのまま大賞」受賞。平成15年度「バリアフリー推進東京都知事感謝状」受賞。

【NPO法人 ベターコミュニケーション研究会 (NPO-BCS) 〒164-0014 中野区南台 2-51-7-707 号 TEL/FAX 3380-3324 equal@bcs33.com】
【現代書館営業部 FAX 03-3262-5906 http://www.gendaishokan.co.jp】



情報は公平に、平等に!

聴覚障害者は外見からはわかりません。何に困っていて、どうしたらいいのかも理解されていません。高齢化に伴う難聴者が増加するなか、聴覚障害理解の推進と、あらゆる生活場面での情報バリアフリー化は急務です。

四六判上製 280 頁
定価 2000 円+税
ISBN978-4-7684-3466-6

「聞こえ」のバリア 解消への提言 —— 共生社会を目指して

好評
発売中!

「まわりの配慮・理解・協力があれば、聴覚障がい者をはじめだれもが安心して暮らせる社会は実現できる!」
——聴覚障がい者として多くの偏見・差別などを体験し、30年以上にわたりその解消に取り組んできた著者が自らの体験をもとに提案する。

「日本には現在、軽度を含めると約 600 万人の聴覚障がい者がいる。その 65 パーセントは年齢とともになっている。聴者も明日はわが身かもしれないのだ。“いつか自分も通る道”という認識が大切になる。また“聞こえることが当たり前”という発想を転換することも大切である」「私は、障がい者は障がい者として胸を張って生きること、自立していくことこそが何より大切だと思っている。手話通訳や要約筆記などの人的な配慮、文字表示機などの機器的な配慮があれば、聴覚障がい者も人間として社会にかかわっていける!」(いずれも本書より)



中国秀喜

四六判272ページ
定価1785円(税込み)
ISBN978-4-14-081307-2

〈著者紹介〉
中国秀喜 なかのの・ひでき (ペンネーム岩淵紀雄)
大分県出身。バリアフリー・アドバイザー。国土交通省、経済産業省、厚生労働省、総務省消防庁などバリアフリー・ユニバーサルデザイン関係委員、NHK「聴力障害者の時間」司会歴任。「社長、バリアに挑む」(同友館)「拝啓 病院の皆様」(現代書館)ほか、著書多数。平成19年度「勇氣ある経営大賞」優秀賞等各種表彰受賞。

お問い合わせ
TEL.&FAX 03-3380-3324
〒164-0014 中野区南台 2-51-7-707 号
NPO法人 ベターコミュニケーション研究会 (NPO-BCS)
equal@bcs33.com